

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	卒業制作		
科目基礎情報						
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名	全コース	開設期	後期	
対象年次	3 年次	科目区分	必修	時間数	420時間	
単位数	1 4 単位	開設時間	月曜1～8時限、火曜1～8時限、水曜5～8時限、金曜1～8時限		授業形態	講義・実習
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。					
担当教員情報						
担当教員	加賀武見、白鳥裕之、岡本和士			実務経験の有無・職種	有・デザイナー	
学習目的						
この科目では、各自またはゼミのテーマに基づき3年間のまとめとしての作品を制作する。卒業制作は、あくまで社会のニーズにもとづくもの、あるいは社会の問題・課題を改善するものを、調査・考察し、具体的な企画案を提案し、企画にもとづくツールやモックを制作し、広く一般に向けてプレゼンテーションすることを目的とする。						
到達目標						
この科目では、調査力、考察力、企画力、プレゼンテーション力、モノを作るための技術力や表現力、そしてこれら全体を含むプロジェクトを管理(マネジメント)する力を身につけることも目標とする。この中のどれかひとつが長けているのではなく、あくまでバランス感覚に優れた人物になるため、すべての工程において成果を出すよう、取り組むこと。						
教育方法等						
授業概要	これまでの実習科目の進め方とは違い、ゼミの担当教員と学生の「面談」が授業の主体となる。学生は、毎回担当教員に、卒業制作作品の進捗状況および今後の計画について報告し、それに対して教員は適宜必要なアドバイスを実施する。					
注意点	学生は各回ごとに必要な資料をアナログまたはデジタルデータで準備すること。調査、取材などの日程が授業と重複する場合には、実施前日までに担当教員の許可を得ること。授業時限数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する			
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する			
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する			
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画（1回～15回）						
回	授業内容		各回の到達目標			
1 回	企画アイデア提案		3案以上の企画アイデアを提案し、取り組むべき「課題」を導き出すことができる			
2 回	企画調査		「課題」に基づき、市場調査を行い、ターゲットの動向を把握する			
3 回	企画の立案		市場調査に基づき、「課題」に必要な企画を立案する			
4 回	企画書作成		立案した企画を、想定したターゲットやクライアントに向けた企画計画書としてまとめる			
5 回	企画プレゼンテーション		企画計画書を、必要なビジュアル用いながら具体的に、わかりやすくプレゼンテーションする			
6 回	β版制作作業①		「課題」を改善するツールやモックのビジュアルを作成し、完成形がわかるものを制作する			
7 回	β版制作作業②		「課題」を改善するツールやモックのビジュアルを作成し、完成形がわかるものを制作する			
8 回	中間プレゼンテーション		β版をプレゼンテーションし、教員等の指摘を受け止め、改善点を導き出すことができる			
9 回	制作作業①		「課題」を表現するための最適なメディアを意識して作品を制作する			
1 0 回	制作作業②		「課題」を表現するための最適なマテリアルを選択して作品を制作する			
1 1 回	制作作業③		「課題」が的確に表現できているのか、教員と共に検証作業をする			
1 2 回	制作作業④		検証作業を経て、作品を修正し、納期までに作品を完成させる			
1 3 回	最終プレゼンテーション(講評会)		「課題」と自身の計画を振り返った上で、自身の作品の最終プレゼンテーションを行う			
1 4 回	展覧会準備		展覧会に合わせ、展示計画やツールを検証し、制作する			
1 5 回	展覧会		自身の作品を展示し、他者に自身の「課題」解決提案としての作品を丁寧に説明できる			